授業科目名： 経済学	教員の免許状取得のための の 選択必修科目	単位数： ２単位	担当教員名：平井　俊顕 担当形態：単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科　目	教科及び教科の指導法に関する科目 （中学校社会及び高等学校公民）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 「社会学、経済学」		

「学位授与の方針」との関係

　経済現象を分析することで、課題探究能力を養うことができる。
経済は生きているものであり、絶えず学びなおし学び続けることは重要である。

授業の到達目標及びテーマ

　この科目は、世界資本主義につき、原理的視座、ならびに主要国経済の現状分析的視座から分かりやすく解説することを主たる目的にしている。とりわけ、われわれを取り巻く現在的状況を今後の展望も含めて理解することに大きな力点がおかれる。

授業の概要

　この科目は、世界資本主義をめぐり、原理的視座に関する部分（主として、第１講～第３講、および第９講）、および主要国経済の現状分析的視座に関する部分（主として、第４講～第８講、および第１０講）で構成されている。

授業計画

第１回：現在の資本主義システムがもつ３つの問題点の理解　（第１講）
第２回：今後の社会哲学のあるべき方向を探るうえで重要な、資本主義システムの在り方についての検討（第１講）
第３回：グローバリゼーション引き起こした要因の検討（第２講）
第４回：グローバリゼーションのタイプ分けの理解（第２講）
第５回：「グラス=スティーガル法」の換骨奪胎化と「グラム=リーチ=ブライリー法」の成立とは何なのかを理解する（第３講）
第６回：金融自由化が世界全体に及ぼした３つの影響を理解する　（第３講）
第７回：オバマ政権の財政政策とはどのようなものであったのかの理解（第４講）
第８回：リーマン・ショックとは何であったのかの理解（第４講）
第９回：バーナンキの政策理論とはどのようなものであったのかの理解（第５講）
第１０回：ユーロ危機はどのような経緯で生じたのか、そしてどのような対策がとられたのかの理解　（第６講）
第１１回：日本経済が辿ってきたこの 30 年間をどうとらえるのか（第７講）
第１２回：アベノミクスの金融政策理論とはどのようなものであったのかの検討（第８講）
第１３回：世界秩序の地政学的激変とは何なのかの理解（第９講）
第１４回：中国の「一帯一路戦略」とは何なのかの理解（第９講）
第１５回：バイデン政権が採ろうとしている経済政策を理解する（第 10 講）
定期試験

教科書 　平井俊顕『世界経済とグローバリゼーション：世界経済を読み解く視座』 　※学生ポータルサイトよりダウンロード
参考文献 （１）平井 俊顕『ケインズ１００の名言』東洋経済新報社　2007 年 （２）平井 俊顕『ケインズ・シュムペーター・ハイエク』ミネルヴァ書房　2007 年 （３）平井俊顕『ヴェルサイユ体制対ケインズ：説得の活動・ニュー・リベラリズム、新たな経済学』SUP 上智大学出版、2022 年
学生に対する評価 レポート評価（５０％）、科目修得試験（５０％）の割合で総合して評価する。